

2020年10月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 共産党政治局会合開催
- (2) 通貨関連改革
- (3) 地方空港再開と定期便等運航再開
- (4) 海外に滞在するキューバ人の在留許可
- (5) チャーター便によるキューバ人の帰国
- (6) 外国人観光客の到着
- (7) 新型コロナウイルスのキューバ産ワクチン「ソベラナ02」
- (8) 人民権力全国議会第9立法期第5回通常会期の開催

2 外交

- (1) 新型コロナウイルス対策に係る英国による支援
- (2) 核軍縮に関する国連総会ハイレベル会合
- (3) キューバ・北朝鮮外交関係樹立60周年記念行事
- (4) 新型コロナウイルス感染症対策に係るベトナムによる支援
- (5) 非同盟諸国外相会議
- (6) 人権理事会理事国選挙
- (7) EUとの会議
- (8) キューバ・南アフリカ貿易フォーラム
- (9) キューバ・中国外交関係樹立60周年記念行事
- (10) ジュム・チャイリー・カンボジア副首相との会談
- (11) キューバ・アンドラ外交関係樹立25周年
- (12) アルセ・ポリビア大統領候補への祝意表明
- (13) 宇都外務副大臣との会談
- (14) 米国による経済制裁の影響
- (15) ディアスカネル大統領発グテーレス国連事務総長宛書簡
- (16) ディアスカネル大統領の第38回国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（CEPAL）出席
- (17) ディアスカネル大統領とモラレス・ポリビア前大統領との電話会談
- (18) 日本からキューバ柔道連盟への柔道着寄贈
- (19) 米国による制裁強化に対するキューバ政府反応
- (20) カンボジア大雨被害に対するお見舞いメッセージ発出
- (21) アゼルバイジャン大使館の開設
- (22) キューバ・ベネズエラ統合的協力協定署名20周年

- (23) トルコ沖地震に対するお見舞いメッセージ発出
- (24) 中国語教育に関するキューバ・中国間の覚書署名
- (25) セサル・ロペス氏への在外公館長表彰
- (26) 新型コロナウイルス感染症対策のための諸外国へのキューバ人医療団の派遣

3 新型コロナウイルス

- (1) 新型コロナウイルス感染状況等（※10月31日23:59時点、保健省発表）
- (2) ハバナ県における規制緩和措置
- (3) 地方における規制強化等

【本文】

1 内政

(1) 共産党政治局会合開催

6日から7日にかけて、ラウル・カストロ共産党第一書記の主宰により、共産党政治局会合が開催された。会合では、人民権力全国議会にて提案予定の諸法案、新型コロナウイルス対策措置及び来年4月に開催予定の共産党大会の準備等について協議が行われた。

(2) 通貨関連改革

13日、アレハンドロ・ヒル副首相兼経済企画大臣は、国営放送「メサ・レドンダ」にて、通貨関連改革について概要以下のとおり説明した。

ア 通貨関連改革は通貨統合、為替統合、補助金・無償配布制度の変革、国民の収入の変革からなる。

イ 複数為替制度の統一は通貨の減価を引き起こし、大きな調整を伴う。同プロセスは、人民ペソ（CUP）の減価なしには実施しえない。

ウ 通貨統合はある月の初日に実施。国民には兌換ペソ（CUC）の交換に6ヶ月間を当初想定とするが、状況により変化しうる。

エ 通貨統合の結果、CUPが唯一の法定通貨となる。

オ 給与基金を4.9倍、年金基金を5倍に引き上げる。

(3) 地方空港再開と定期便等運航再開

ア 16日から、ハバナ空港以外の空港で定期便・臨時便共に運航が許可された。これを受け、カマグエイ、サンティアゴ・デ・クーバなどの空港に外国からの航空便が到着した。

イ 17日付 Cubadebate は、11月6日以降、エアカナダがモントリオールか

らバラデロへ運航する旨報じた。翌7日には、トロントからバラデロに運航し、週1回の定期運航が維持される由。

ウ 27日付 Cubadebate は、11月3日から、オルギン県フランク・パイス国際空港が再開される旨報じた。

(4) 海外に滞在するキューバ人の在留許可

17日、外務省は、海外に滞在するキューバ人の在留許可に関し、新たな発表があるまで在留許可延長手続を免除する旨発表した。同措置により、キューバ国内の在留資格を失うことなく2021年10月12日まで海外に滞在することができる。

(5) チャーター便によるキューバ人の帰国

19日、キューバ外務省は、3月21日以降、94のチャーター便にて、56か国から5700人以上のキューバ人が帰国した旨発表した。

(6) 外国人観光客の到着

25日付 Cubadebate 紙は、同日、バラデロに（空港再開以降）初めての海外観光客276名が英国から到着した旨報じた。

(7) 新型コロナウイルスのキューバ産ワクチン「ソベラナ02」

27日付 Cubadebate 紙は、国立医薬品医療機器管理センターによる承認の後、新型コロナウイルスのキューバ産ワクチン「ソベラナ (Soberana) 02」の臨床試験第一フェーズが開始される旨報じた。

(8) 人民権力全国議会第9立法期第5回通常会期の開催

28日、人民権力全国議会第9立法期第5回通常会期が開催された。多くの議員がオンライン方式で出席した。故エウセビオ・リアル氏及び逝去したその他の議員に対する黙祷の時間が設けられた。

前会期後に選出された新議員20名が正式に就任した他、2019年国家予算決算、新型コロナウイルスによる世界的な危機に対抗するための経済社会戦略等について議論が行われ、4法案が承認された。

2 外交

(1) 新型コロナウイルス対策に係る英国による支援

2日、駐キューバ英国大使館は、新型コロナウイルス対策として、キューバに衛生分野の強化、ワクチン・治療薬の開発、経済的影響の軽減への支援を目的として、6つの小規模なプロジェクトを実施する旨発表した。

（２）核軍縮に関する国連総会ハイレベル会合

２日、核軍縮に関する国連総会ハイレベル会合が開催され、ブルーノ・ロドリゲス外務大臣が概要以下の演説を行った。

ア 広島と長崎への爆弾投下から７５年経った今でも、約１３４００の核兵器が存在し、そのうち１８００が高い警戒態勢にあり、３７２０が配備されていること、その半数以上を米国が保有していることに愕然としている。配備された兵器の保有数は米国が最も多く、同国は２発の原子爆弾を投下した世界で唯一の国。

イ 国際社会は、米国による「核態勢の見直し」を前に平然としていることはできない。イラン核合意及び旧ソ連と締結した中距離核戦力全廃条約からの米国の離脱及び国際の安定と安全保障に重大な結果をもたらす米国の一方的な行動を拒絶する。ロシアとの戦略核兵器削減条約（START）の再開を要請する。

ウ 核兵器の完全な廃絶は軍縮の最重要課題とされるべき。核エネルギーは、各国の経済社会開発のための平和的な目的のみに使用されるべき。

エ 核兵器禁止条約の批准を要請する。

（３）キューバ・北朝鮮外交関係樹立６０周年記念行事

８日、キューバと北朝鮮は、外務省にて、外交関係樹立６０周年の機会に記念切手発行式典を開催した。キューバ側はロドリゲス外務大臣、アナヤンシ・ロドリゲス外務次官、北朝鮮側は Ma Chol Su 駐キューバ北朝鮮大使他が出席した。ロドリゲス外務次官は、二国間の国民、政党及び政府間の歴史的な兄弟・連帯関係や、米国が両国に対し経済制裁及び封鎖を行う中でも、二国間協力を強化するための可能性について強調した。Ma Chol Su 大使は、引き続き、共通の関心分野における様々な関係を強化していく意志を再確認した。

（４）新型コロナウイルス感染症対策に係るベトナムによる支援

９日、ベトナム ViMariel 社から、キューバに対し、外交関係樹立６０周年の機会に、新型コロナウイルス感染症対策として１２５トン以上のコメが贈与された。ディアスカネル大統領は、自身のツイッターにて、両国の歴史的友好関係は永遠である旨発信した。

（５）非同盟諸国外相会議

９日、非同盟諸国会議がオンライン方式で開催され、ロドリゲス外務大臣が概要以下の演説を行った。同会議の後、強硬かつ一方的な措置の適用を非難する旨の声明を発出した。

ア 国際情勢は日に日に悪化。経済、軍事、技術大国は、攻撃的かつ傲慢な政策

で多国間機関及び取決を軽視し、国際法及び国連憲章に違反し、国際の平和と安全を脅かしている。

イ 持続可能な開発に資源を分配する代わりに、核兵器の近代化と軍事費の拡大を支援してしまっている。先進国と途上国の溝は拡大した。2019年には、世界の最も豊かな層1%が、69億人分の富の2倍を所有すると推測された。世界の経済は危機的状況にあり、新型コロナウイルスの影響により悪化している。

ウ 発展の権利は、一方的かつ強硬な措置により、更に制限されている。発展途上国の対外債務は、特に新型コロナウイルス拡大のもとで返済不可であり、免除されるべきである。

エ この複雑な状況において、非同盟諸国運動は、途上国のための主要機関として、我々の要求を擁護するための確固たる役割を果たすべきだ。創設当初から、同運動は、平和と公平、民主的かつ平等な新たな国際経済秩序のために、植民地主義、新植民地主義及びアパルトヘイトとの闘いに貢献し、パレスチナを支援し、核軍縮に貢献してきた。

(6) 人権理事会理事国選挙

13日、国連総会において人権理事会理事国選挙が開催され、キューバが理事国として選出された。キューバが理事国に選出されるのは5回目。前日の12日、キューバ外務省は、2021—2023年任期の人権理事会理事国に立候補した旨公表していた。

(7) EUとの会議

14日、キューバとEUは軍縮・大量破壊兵器不拡散及び小型武器非合法取引及び通常兵器に関し、オンライン形式での会議を実施した。

(8) キューバ・南アフリカ貿易フォーラム

14日、キューバと南アフリカは、新型コロナウイルス禍及び米国のキューバに対する一方的かつ違法な封鎖が悪化する中で、二国間の経済、貿易及び投資関係を促進するため、オンライン方式で貿易フォーラムを開催した。南アフリカ側は、Jacki Mpondo-Hendricks ヨハネスブルグ商工会議所会頭、キューバ側はルベン・ラモン・アリエタ商工会議所副会頭が出席し、両商工会議所間の協力に関する覚書に署名した。

フォーラムには、キューバの保健、農業、工業、バイオテクノロジー、高等教育及び文化に関する民間セクターも出席した。

(9) キューバ・中国外交関係樹立60周年記念行事

14日、キューバと中国は、外交関係樹立60周年の機会に、記念切手発行式

典を開催した。キューバ側はロドリゲス外務大臣及びロドリゲス外務次官、中国側は、Chen Xi 駐キューバ中国大使が出席した。ロドリゲス外務次官は、キューバが中国と外交関係を樹立したラテンアメリカで初めの国であることが誇りである旨述べ、この60年間の中キューバ関係はハイレベルの対話で特徴づけられる旨強調した。Chen Xi 大使は、両国間の歴史的関係における重要な事柄について想起し、二国間交流を促進し、協力を強化していくという中国共産党、政府、国民の意志を再確認した。

(10) ジュム・チャイリー・カンボジア副首相との会談

14日、ジュム・チャイリー・カンボジア副首相は、リウルカ・ロドリゲス駐カンボジア・キューバ大使と会談した。ジュム・チャイリー副首相は、人権理事会理事国へのキューバの選出に祝意を表明した。ロドリゲス大使は、洪水により犠牲になった人々へのお悔やみを表明し、新型コロナウイルス対策に係る政府の能力を賞賛した。同大使は、米国による封鎖を終了させるためのカンボジアによる支援に謝意を表明した。双方は、農業や環境、農村開発など、新たな分野における協力を検討していく希望を表明した。

(11) キューバ・アンドラ外交関係樹立25周年

19日、キューバとアンドラは外交関係樹立25周年を記念し、概要以下の共同声明を発表した。

ア 25年間、アンドラとキューバは、共通の価値、相互尊重及び相互利益に基づき、様々な分野において関係を構築してきた。アンドラ・キューバ間の関係は高等教育や文化といった分野にも拡大し、この協力は、新型コロナウイルスの危機に対応する同国の医療システムを支援するためのキューバ人医療団の派遣に反映されている。

イ マリア・ウバック・フォン・アンドラ外務大臣のキューバ公式訪問時にはロドリゲス外務大臣と会談し、双方は両国の良好な関係を証明した。

ウ 相互支持、中南米諸国分野における連携、多国間主義に対する両国の責務等に反映されるように、国際機関における協力も強化された。国連憲章及び国際法の遵守が、気候変動や人権の擁護等、国際社会が直面している現下の問題への唯一の方法である。

エ この25周年記念の機会に、両国は二国間関係を強化し、共通の価値を促進するために引き続き取り組む意志を表明する。

(12) アルセ・ボリビア大統領候補への祝意表明

20日、ディアスカネル大統領は、ボリビア大統領選挙について、ルイス・アルセ候補に対する祝意表明を自身のツイッターで発信した。同じく、ロドリゲス

外務大臣もツイッターにて祝意を表明した。

(13) 宇都外務副大臣との会談

22日、宇都隆史外務副大臣は、ミゲル・ラミレス駐キューバ大使と会談した。宇都副大臣は、昨2019年に90周年を迎えた二国間の歴史的関係について強調し、引き続き関係強化に取り組んでいく意志を伝えた。新型コロナウイルスの拡大に関し、宇都副大臣は、キューバ人医療団派遣による国際協力を強調し、キューバの高度な医療システムについて再確認した。ラミレス大使は、米国による対キューバ経済封鎖について言及した。

(14) 米国による経済制裁の影響

22日、ブルーノ・ロドリゲス外務大臣は、記者会見において、米国による封鎖政策の影響について、概要以下の演説を行った。

ア 米国政府は、新型コロナウイルス拡大による悲惨な状況を利用し、キューバに対する封鎖を激化させている。封鎖はジェノサイド行為であり、経済戦争であり、犯罪行為である。

イ 封鎖は、米国国民の渡航の自由、情報への権利をも制限している。それらは民主的、人道的な価値と矛盾するものである。同様に、自国企業のビジネス、米国自身の国の利益にも影響を与えている。

ウ 封鎖の域外適用は主権を侵害し、地球上すべての国々の利益に影響を及ぼし、国際法を侵害し、多国間主義に深く損害を与えている。

エ 2019年4月から2020年3月の1年間の封鎖による損害は55億7千万米ドル。約60年間の損害の総額は1444億1千3百万米ドルに達する。一方、金に対する米ドルの価値下落を考慮すると、1兆988億米ドルに及ぶ。

オ 封鎖は、キューバが新型コロナウイルスに対抗する上で追加的な問題を引き起こしている。封鎖は、キューバが米国の医療機器・医療技術、第三国の医療技術や機器にアクセスすることを妨害している。

カ 世界的な影響に鑑み、米国による経済・貿易・金融封鎖に関する総会決議の提案は、国際社会が封鎖に対し確固たる反対を表明できるよう、2021年5月に行う予定。

(15) ディアスカネル大統領発グテーレス国連事務総長宛書簡

キューバ外務省は、ディアスカネル大統領発アントニオ・グテーレス国連事務総長宛書簡（10月24日付）を掲載したところ、概要以下のとおり。

ア 国連創設75周年を迎えた今、国連の役割は益々重要となってきた。国連憲章及び国際法の原則・目的及び多国間主義の擁護は緊急である。

イ 新型コロナウイルス拡大は、政治・イデオロギー上の違いを乗り越え、協力

と連帯を通じて解決法を探す必要性を露呈した。

ウ 今こそ、国連憲章に署名した時の約束を尊重するときだ。紛争や軍国主義、侵略戦争、侵略行為、強硬かつ一方的な措置、政治的目的を持った人権の操作及び民族自決権の軽視、不平等、貧困、飢餓、排斥、生きる上で必要不可欠なサービスへのアクセスの欠如を、断固として地球上から追放すべきだ。

エ 国連は、現世代及び将来の世代のために、公平、民主的かつ平等な国際秩序を促進すべきだ。この目的の達成のために、キューバは常に国連を支持する準備がある。国際場裏では、今後も、平和、国際法及び公平性を擁護し、人類の存続に対する脅威を拒否していく。

(16) ディアスカネル大統領の第38回国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会 (CEPAL) 出席

26日、ディアスカネル大統領は、オンライン方式で開催された第38回国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会に出席し、ラテンアメリカ・カリブ地域では深刻な経済社会的不平等が続いており、国家間及び各国内の構造的かつ組織的な格差は、複雑な国際情勢の中で拡大していること、新型コロナウイルスが各国の生産システムの制限を拡大し、各国の脆弱性を露呈したこと、米国の封鎖はジェノサイド的であり、キューバ国民の人権を深刻かつ組織的に侵害していること等を述べた。

(17) ディアスカネル大統領とモラレス・ボリビア前大統領との電話会談

27日、ディアスカネル大統領は、自身のツイッターにて、エボ・モラレス前ボリビア大統領と電話会談を行い、社会主義運動党の勝利に祝意を表明した旨発信した。

(18) 日本からキューバ柔道連盟への柔道着寄贈

27日、藤村大使は、スポーツ体育レクリエーション庁 (INDER) で実施されたキューバ柔道連盟への柔道着寄贈式典に出席した。井上康生氏が理事長を務める特定非営利活動法人 JUDO s から計100着の柔道着が寄贈され、うち50着がサンティアゴ・デ・クーバ県のヒロシマ道場に寄贈された。ラファエル・マンソ柔道連盟会長は感謝を伝えつつ、キューバ代表チームは東京オリンピック・パラリンピックに向けて準備を進めている旨述べた。アリエル・サインツ INDER 副長官は、柔道着寄贈が日本とキューバの友好関係促進に寄与することを期待している旨述べた。

(19) 米国による制裁強化に対するキューバ政府反応

28日、ロドリゲス外務大臣は、米国政府がキューバ軍を送金プロセスから除

外する措置を講ずる決定を行ったことに対し、「同措置はキューバ人家族に損害を与える目的を持ち、新型コロナウイルス拡大時における経済・貿易・金融封鎖の強化は、ジェノサイド的米国政府がキューバ国民を軽視している証左である」旨、自身のツイッターで発信した。キューバ外務省発表によると、同措置の結果として、11月末までに、米国からキューバへの送金手段として使用されてきたウェスタン・ユニオンの400店舗以上が閉鎖される。

(20) カンボジア大雨被害に対するお見舞いメッセージ発出

30日、キューバ外務省は、マヌエル・マレーロ首相がフン・セン・カンボジア首相に対し、カンボジアの大雨の犠牲者及び被害に対し、キューバ政府と国民を代表しお見舞いのメッセージを送付した旨発表した。

(21) アゼルバイジャン大使館の開設

30日付グランマ紙は、イルハム・アリエフ・アゼルバイジャン大統領が、在キューバ・アゼルバイジャン大使館設立に関する法律に署名した旨報じた。

(22) キューバ・ベネズエラ統合的協力協定署名20周年

30日、キューバ・ベネズエラ統合的協力協定署名20周年を記念して、ディアスカネル大統領とニコラス・マドゥーロ・ベネズエラ大統領との間でオンライン方式の会談が行われた。ディアスカネル大統領は、米国による制限はあるも、ベネズエラに協力するというキューバの決意は不変である旨再確認した。

(23) トルコ沖地震に対するお見舞いメッセージ発出

31日、ロドリゲス外務大臣は、自身のツイッターにて、トルコ沖で発生した地震に関し、トルコ及びギリシャ政府とその国民に対するお見舞いメッセージを発信した。

(24) 中国語教育に関するキューバ・中国間の覚書署名

31日、キューバ及び中国両国の教育省は、第二言語として中国語教育を強化するための協力覚書に署名した。署名は、Chen Xi 駐キューバ中国大使とアダルベルト・レビージャ・キューバ中等教育局長の間で行われた。Chen Xi 大使は、同署名は両国の協力が日々強化されていることを象徴している旨強調した。キューバ側は、中国がキューバにおける中国語教育を支援することは両国の関係を強化していく上で重要である旨述べた。中国語教育は、ハバナのフルクトウオソ・ロドリゲス中学校にて2021年1月から試験的に開始される。

(25) セサル・ロペス氏への在外公館長表彰

30日、キューバの高名なジャズ・アーティストであるセサル・ロペス氏に対して、長年の音楽を通じる二国間関係への貢献に敬意を表して、藤村大使から在外公館長表彰を授与した。

(26) 新型コロナウイルス感染症対策のための諸外国へのキューバ人医療団の派遣

キューバ政府の発表によると、10月末時点でのキューバ人医療団の派遣先国は以下のとおり(すでにキューバに帰国している医療団も含む)。9月末以降、新たな医療団は派遣されていない。

- ・ 英国領アンギラ
- ・ 仏領マルティニーク
- ・ 英国領バージン諸島
- ・ 英国領モンセラット
- ・ アンティグア・バーブーダ
- ・ グレナダ
- ・ セントルシア
- ・ セントクリストファー・ネービス
- ・ セントビンセント及びグレナディーン諸島
- ・ バルバドス
- ・ ドミニカ
- ・ トリニダード・トバゴ
- ・ ハイチ
- ・ 英国領タークス・カイコス諸島
- ・ ジャマイカ
- ・ ベリーズ
- ・ スリナム
- ・ メキシコ
- ・ ホンジュラス
- ・ ニカラグア
- ・ ベネズエラ
- ・ ペルー
- ・ トーゴ
- ・ 赤道ギニア
- ・ エスワティニ王国
- ・ 南アフリカ
- ・ アンゴラ

- ・サントメ・プリンシペ
- ・カーボベルデ
- ・ケニア
- ・ギニア共和国
- ・ギニア・ビサウ
- ・シエラ・レオネ
- ・アンドラ
- ・イタリア
- ・アゼルバイジャン
- ・カタール
- ・クウェート

3 新型コロナウイルス

(1) 新型コロナウイルス感染状況等(※10月31日23:59時点、保健省発表)

- ア 感染者累計：6935名
- イ 死亡者数：128名
- ウ 退院者数：6289名
- エ 国外搬送者数：2名
- オ 入院中：516名(うち、重篤1名、危篤3名)

(2) ハバナ県における規制緩和措置

ア 8日、ディアスカネル大統領及びマレーロ首相は、国営放送「メサ・レドンダ」にて、10月12日からハバナ県はフェーズ3、シエゴ・デ・アビラ県及びサンクティ・エスピリトゥス県(限定的国内感染段階)を除くその他の県は「新たな日常」に移行する旨を発表した。ハバナ県はフェーズ3に移行するが、ハバナ国際空港は再開しない旨発表された。

イ 12日、ハバナ県防衛理事会は、ハバナのフェーズ3への移行に関する詳細について10月19日以降、県をまたぐ長距離バス、10月24日以降、列車の運行を再開する旨を発表した。11月2日から学校再開予定。

(3) 地方における規制強化等

21日、ピナル・デル・リオ県が「限定的国内感染段階」に指定された。

(了)